

第44回 発明大賞

段取りで生産を止めない旋盤用クイック爪

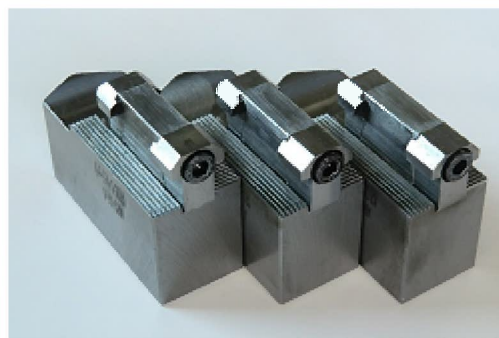
受賞製品・技術のポイント

考案功労賞 (50音順)

■段取りで生産を止めない旋盤用クイック爪
 シンセテック(代表取締役・石川禎章氏)
 旋盤などの工作機械で、加工対象の材料を固定するチャックに取り付ける爪。側面のボルト一つで爪を強固に固定できる。表面にボルトや穴がなくフラットで、操作性に優れ迅速に作業を行える。



爪の交換作業の時間短縮や位置決めも容易。表面をフラットにしたことで清掃が楽になり、自動・無人運転中の切りくずによる加工不良を減少する。(シンセテック=千葉県柏市、0297-82-3311)



日本発明振興協会(東京都港区、原昭邦会長、03-3464-6991)と日刊工業新聞社共催の「第44回(2018年度)発明大賞」に26件の発明が選ばれた。発明大賞は発明考案を通して産業の発展や国民生活の向上に寄与した資本金10億円以下の中堅・中小企業や個人、グループに贈られる。表彰式は13日に東京都港区の明治記念館で開く。